



ドン・キホーテ Don Quijote イン FUKUTSU

2005年11月5日(土)・6日(日)

入場無料

場所：福津市中央公民館ホール

中世ヨーロッパの騎士道に憧れるちょっとおちゃめな騎士「ドン・キホーテ」が、現代にも通じる多くのテーマ、エピソードをもって私たちに400年の彼方から語りかけてくれます。ドン・キホーテ出版400周年という記念すべき年に、ぜひあなたもスペインの歴史や文化に触れてみませんか。

11月5日(土)

ドン・キホーテ出版400周年記念
パネルディスカッション
「私のスペインとドン・キホーテ」
●時間：12:00開場 13:30開始 16:00終了予定
「ドン・キホーテ」を生んだスペインの土地や文化、暮らしなどを、スペインにゆかりの深いパネラーが、楽しみやすい視点でお話します。
コーディネーター：宇田 彌さん(西日本新聞社 報道記者)
パネラー：
川崎 洋さん(法政大学教授、スペイン現代史学会、社会学博士)
堀越 千秋さん(作家、スペインで今年出版されたドン・キホーテの挿絵を制作)
本田 誠二さん(神戸外国語大学スペイン語教授、翻訳家)
坂東 健二さん(京都外国語大学イスパニア資料主任教授、京華セルバンテス懇話会会長)
ギジェルモ・キルクバトリックさん(スペイン大使館文化担当参事官)
オルガ・ガルシアさん(スペイン国立図書館)

吉川二郎スペインギターコンサート

●時間：16:30開場 17:00開演 19:30終了予定
スペインギタリストの吉川二郎さん、野口久子さんによるギター二重奏。
予定費目は「□□□□□□□□」(□□□□□□□□)など。

11月6日(日)

■スペイン映画祭
「キャロルの初恋」EL VIAJE DE CAROL
●時間：13:00～(104分)
原簿：イマノル・ウリベ 出展：ウララ・ラゴ、フアン・ホセ・バジェスタ、アルバ・ロサ、マリア・ブランコ 2002年/スペイン/カラー/104分
1938年の春、内戦に陥れるスペイン。アメリカ育ちの12歳のキャロルは、母とともに母の生まれ故郷スペインへ、アメリカ人の父は闘争前夜のハイロットとしてアラゴン軍と戦っていた。初めての異国の生活、異色の母の死…。老いぬキャロルを覚えてくれたのは、いつもケンカばかりしていた村の少年トミーであった。やがてふたりは恋心を抱くようになるのだが…。



「蝶の舌」LA LENGUA DE LAS MARIPOSAS
●時間：15:30～(95分)
原簿：ホセ・ルイス・スクエルガ 出展：フェルナンド・フェルナン・ゴメス、マヌエル・ロサ、ウララ・ラゴ、フランコ 1999年/スペイン/95分
1938年の春の終わり、ガリシア地方の小宮な村。8歳の少年モンチョは初夏の休日、学校へ行くのが怖くてなかなか出掛かりなかつた。そんなモンチョをグレゴリオ先生は強く連れ入れる。先生と遊べなくなり出し、ティノリノゴという鳥はメスに餌の花を運ぶこと、蝶の舌が興奮状態であることを学んでいく。しかし、スペイン内戦によって連れ残る現代の中、少年はある決断を迫られる…。



11月5日(土)・6日(日)

■堀越千秋ドン・キホーテ原画展
●時間：12:00～19:00
今年スペインで出版された「ドン・キホーテ」に使用された堀越千秋氏の挿絵と小説の挿絵部分を並列展示し、絵を通じて物語に触れていただきます。ドン・キホーテを讀んだことがない方にもドン・キホーテの物語を知っていただける展示会です。
■ドン・キホーテ関連グッズ即売会
●時間：12:00～19:00
ドン・キホーテ関連の図書やグッズなどの展示即売をいたします。

他にも愛知万博スペインパビリオンに展示されていたグッズや絵本などが当たる「お楽しみ抽選会」もあります。ぜひ書いてご参加ください。